

任侠清水港 (1957)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1957/01/03

【解説】

清水次郎長とその一家の波乱に満ちた生涯を、東映イーストマンカラーとオールスターキャストで描く任侠作品。「鞍馬天狗 第一話 白馬の密使」の比佐芳武によるオリジナル脚本をもとに「妖蛇の魔殿」の松田定次が監督した。清水次郎長を片岡千恵蔵、森の石松を中村錦之助が演じている。

山梨の国太郎と猿屋勘助を斬って旅に出た清水の次郎長は、訪れた巾下の長兵衛から貧乏ながらに手厚いもてなしを受ける。夫を追ってやってきた次郎長の妻お蝶も長兵衛の世話になり、この恩は一生忘れぬと手を握り、次郎長一行は旅立っていった。だがその後、長兵衛は保下田の久六の手にかかり殺害されてしまう。次郎長はすぐに引き返し久六を叩き斬るが、次郎長の勢力拡大をおそれる黒駒の勝蔵が親分衆を集めて、果たし状を突きつけてきた。富士川千畳河原で次郎長一家と勝蔵一家が対峙しているところへ、大前田の英五郎親分が現れ「刀を使わず新しい道を作れ」と諭すのだった。

【クレジット】

監督 松田定次

製作 大川博

企画 マキノ光雄

脚本 比佐芳武

撮影 川崎新太郎

美術 桂長四郎

音楽 深井史郎

出演 片岡千恵蔵

中村錦之助

東千代之介

大川橋蔵

伏見扇太郎

大友柳太朗

市川右太衛門

高千穂ひづる